

令和6年度 第1回登米農業改良普及センター普及活動検討会

日 時：令和6年9月3日（火）

午後1時30分～3時30分

場 所：JA みやぎ登米南部豊里店2階会議室
豊里町現地ほ場

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 現地視察（豊里町ピーマンほ場）

4 委員・職員紹介，検討会の進め方について

5 活動紹介

（1）令和6年度普及指導計画について

（2）プロジェクト課題 No. 2

「地域営農構想の実現に向けた営農体制整備」について

（3）プロジェクト課題 No. 3

「加工用ばれいしょ生産中・長期計画策定と生産体制構築」について

6 総合検討（普及活動全般に対する意見交換）

7 閉 会

プロジェクト課題計画

課題No. 2			
課題名 地域営農構想の実現に向けた営農体制整備（「地域計画」及び「園芸振興」関連課題）			
計画期間	令和6年度		
対象名及び対象者数	米川地区農地整備事業に関する担い手法人の発起人会（2人）		
課題の背景	<ul style="list-style-type: none"> 米川地区は、大雨の際には常習的に水害の発生する地区であり、これまでは水稲作付けが中心であり、畑作物の転作は実施されていない。また、南北方向の沢状の地形であり、両側の山林も近いこと総じて日当たりが悪く、水稲の収量水準は高くない。 米川地区は平成30年に地域営農構想を策定し、令和6年度採択予定の農地整備事業地区である。促進計画書では、担い手1法人に集積・集約化する計画であり、目標年度は令和16年度である。併せて、高収益作物（ネギ、タマネギ、エダマメ）を作付けする計画である。 整備事業では、令和8～10年度に面工事を実施予定であるため、暗きょ施工された排水条件の良い大区画ほ場が使用できるのは令和11年度からとなる見込みである。 米川地区の営農の担い手5人のうち2人で担い手法人設立の発起人会を令和6年2月に組織した。また、法人経営の担い手として1人（総合調整役）が発起人会顧問として支援している。 発起人会では先進事例視察や事業計画の検討を短期間で実施する予定であり、令和6年度中の担い手法人設立を目指している。 担い手のうち1人が高収益作物を志向し、令和5年度より地区内ほ場で試験栽培を開始（令和6年度に収穫するネギ、タマネギ）した。ただし、暗きょ未整備水田での栽培のため、慢性的な湿害や大雨での浸冠水の恐れもあり、収穫まで完遂できるか懸念される。 普及センターでは、令和6年度産高収益作物3品目の試作結果の検証に向けて、ほ場準備（土壌分析や明きょ施工等）やネギの育苗、タマネギ苗の植え付け等の支援を開始している。 		
期待される対象の変化	地域営農構想の実現に向けて、担い手法人設立の見通しが立てられる。		
県実施方針上の関連項目	1-(1)先進的経営体や地域の核となる経営体の育成及び経営の安定化・高度化支援 1-(5)収益性の高い水田農業・畜産経営の展開支援		
地域基本方針上の関連項目	1-(1)先進的経営体や地域の核となる経営体の育成及び経営の安定化・高度化支援 2-(1)収益性の高い水田農業・畜産経営の展開支援		
担当チーム員	◎三上雄史、安達芳則、松原敦子、加茂純子 木村優太	担当班及び 進行管理責任担当者	地域農業班 安達芳則
令和6年度			
成果指標	定性的目標 地域営農構想の実現に向けて、担い手法人設立の見通しが立てられる。		
	定量的数値目標 担い手法人の経営ビジョン R5:0 → R6:1		
活動指標	定量的数値指標（合計総現地活動日数 50日）		
	活動事項 地域営農体制構築支援（先進経営体視察研修、経営ビジョン検討）（12日） 高収益作物試作支援（各品目試験栽培支援、作柄検討）（32日） 関係機関連携による担い手支援（担い手支援ロードマップの共有）（6日）		
関係機関の主な役割分担項目 東和町土地改良区（農地整備事業、法人化支援）、登米市（事業導入支援）、JAみやぎ登米（販売活動支援）、登米地域事務所農業農村整備部（農地整備事業）、東部地方振興事務所農業農村整備部（計画調整）			
関連事業名と役割 農業競争力強化農地整備事業（中山間地域型）			

中間評価表（様式1）

課題 NO.2・地域営農構想の実現に向けた営農体制整備・令和6年度

担当チーム員 ◎三上雄史、安達芳則、松原敦子、加茂純子、木村優太 記述者：三上雄史

対象名及び対象数 米川地区農地整備事業に関する担い手法人の発起人会（2人）

8月中間評価
(1) 活動指標：普及活動の進捗状況等（月次活動計画の進捗度）
①担当班及び進行管理責任担当者 地域農業班・安達芳則
②合計総現地活動日数 (30日／内計画日数 29日)
③活動指標ごとの活動日数
・地域営農体制構築支援 (3日／内計画日数 6日)
・高収益作物試作支援 (15日／内計画日数 20日)
・関係機関連携による担い手支援 (12日／内計画日数 3日)
(2) 成果指標：定性的目標及び所見
<設定した目標>
・地域営農構想の実現に向けて、担い手法人設立の見通しが立てられる。
<設定した目標に対する所見及び課題>
・担い手法人設立に向けた発起人会では、農地整備に関する工事の進捗に合わせて法人を設立することとし、令和7年7月頃を設立時期の目標に設定した。
・目標設定に当たっては、面工事に関する事前・事後転作を法人が担うことを想定しており、最短で令和8年度の面工事に向けた事前転作に対応できる体制を構築することとした。
・発起人会を構成する2人が中心となって農地整備地区の集積目標に対応することとなるため、今後の発起人会では、より具体的な営農・機械導入等の計画検討が必要と見られる。
・高収益作物は、昨秋からの計画どおり、タマネギ、ネギ、エダマメを順次試作してきており、さらにはほ場の空き部分を使って計画外のナスも試作している。
・試作は工事前の現況ほ場で行われており、畦立てして栽培されているタマネギとエダマメは比較的通常に近い生育となったが、溝を掘って定植するネギは常時湿害状態となっている。
(3) 今後の対応・月次活動計画の見直し等
・発起会の運営・検討内容は月次計画とは若干順不同になっており、法人設立時期も4か月ほど後倒しとなったが、必要な検討事項は年度内に見通しを立てることとしており、年次計画上は概ね予定どおりの進捗と見ている。
・上記変更内容については、発起会で共有している「法人化ロードマップ」の計画修正を支援することで対応する。
・高収益作物については、今年度収穫分は結果のとりまとめを支援する。次年度分に向けては、現況のほ場条件でのネギ栽培は非現実的なので再検討を支援する。
月次活動計画の見直しの必要性（有・ 無 ）
※見直しの必要性がある場合は、見直した月次活動計画を添付する。
(4) 対象からの意見及び評価
・担い手法人の設立に向けた発起人会での検討やタマネギ等の高収益作物の試作等について、普及センター等の関係機関の支援・協力に感謝している。（米川地区担い手法人発起人会長）

プロジェクト課題計画

課題No. 3			
課題名 加工用ばれいしょ生産中・長期計画策定と生産体制構築（「園芸振興」関連課題）			
計画期間	令和6年度～令和8年度		
対象名及び対象者数	登米ぼてと組合（9経営体）		
課題の背景	<ul style="list-style-type: none"> ・登米地域は、平成29年ごろから実需者との契約栽培が始まり、令和3年には「登米ぼてと組合」が設立され、組織的なばれいしょ栽培が始まった。登米ぼてと組合構成員は栽培面積や経営規模がさまざまであり、ほ場整備を契機に参入した生産者も含まれる。 ・普及センターでは、これまで令和4年度から令和5年度の2か年にわたってプロジェクト課題で栽培技術向上を支援し、反収及び収入向上に向けて活動を行ってきた。令和4年度は7月の大雨で大きな被害を受けたが栽培者は減ることなく、令和5年には課題となっていた排水対策や夏疫病への対処方法などが概ね定着した。その結果、収量は目標の3.0tには届かなかったものの、2.4tと令和3年実績から0.4t向上した。一方で、登米地域で栽培する場合、現行のマニュアルでは定植時期が早すぎるため発生した病害や、水田地帯の土壌の特性による肥料分不足等、栽培上の新たな課題が明確化され、登米地域に合わせた作業適期の検討や土づくりの必要性が生じてきている。 ・令和5年度から、前述の課題等を踏まえて今後の加工用ばれいしょ振興について関係機関及び生産者が話し合いを行い、「加工用ばれいしょ生産中・長期計画」作成への取り組みが始まった。 ・「加工用ばれいしょ生産中・長期計画」は、今後の産地の方向性と将来像を生産者自らが定め、支援を行う関係機関の役割を明確化することが重要な要素となっており、作成に当たっては関係機関による連携と支援が求められている。 ・登米ぼてと組合発足後、組合活動では収穫作業を含めた出荷体制の整備、加工用ばれいしょ専用機械および選別機の導入とその運用体制の整備について話し合われてきた。これらは、登米地域における加工用ばれいしょ生産基盤強化に向けた生産体制を構築する上で重要な課題であり、解決へ向けた取り組みが必要となっている。 		
期待される対象の変化	加工用ばれいしょ産地の生産基盤強化に関わる体制が構築され、中・長期的な生産計画のもと生産が行われる。		
県実施方針上の関連項目	1－（4） 園芸産出額の増大に向けた園芸産地の育成・強化支援 2－（2） 多様化する需要の変化に対応した生産・販路拡大への取組支援		
地域基本方針上の関連項目	2－（2） 園芸産出額の増大に向けた園芸産地の育成・強化支援 4－（2） 多様化する需要の変化に対応した生産・販路拡大への取組支援		
担当チーム員	◎木村智志、千葉佳朗、齋藤健多、木村優太 佐藤優衣	担当班及び 進行管理責任担当者	先進技術班 千葉佳朗
令和6年度			
成果指標	定性的目標 ・生産者による加工用ばれいしょ生産中・長期計画策定に向けた課題の洗い出しが行われ、組合内で共有される。		
	定量的数値目標 加工用ばれいしょ生産中・長期計画作成 R6年 0 → R7 0 → R8 1		
活動指標	定量的数値指標（合計総現地活動日数 60日）		
	活動事項 ・組合活動・体制構築支援（組合行事開催支援、加工用ばれいしょ関連機械及び選別場運用計画作成支援）（22日） ・栽培技術向上支援（生育調査、土壌分析、登米版栽培マニュアル作成）（24日） ・技術・経営評価支援（機械導入支援、費用対効果等経営評価）（14日）		
関係機関の主な役割分担項目			
JAみやぎ登米（組合運営支援、選別場運用支援）、カルビーポテト株式会社（講習会等技術支援、品質評価）、県園芸推進課（事業導入支援）、登米市			
関連事業名と役割			

中間評価表（様式1）

課題 NO.3・加工用ばれいしょ生産中・長期計画策定と生産体制構築・令和6～8年度
担当チーム員 ◎木村智志、千葉佳朗、齋藤健多、木村優太、佐藤優衣 記述者：木村智志
対象名及び対象数 登米ぼてと組合 9経営体

8月中間評価
(1) 活動指標：普及活動の進捗状況等（月次活動計画の進捗度）
① 担当班及び進行管理責任担当者 先進技術班・千葉佳朗 ② 合計総現地活動日数（52日／内計画日数 36日） ③ 活動指標ごとの活動日数 ・組合活動・体制構築支援（12日／内計画日数 8日） ・栽培技術向上支援（28日／内計画日数 18日） ・技術・経営評価支援（12日／内計画日数 10日）
(2) 成果指標：定性的目標及び所見 <設定した目標> 加工用ばれいしょ産地の生産基盤強化に関わる体制が構築され、中・長期的な生産計画のもと生産が行われる。 <設定した目標に対する所見及び課題> (組合活動・体制構築支援) ・昨年度から選別機導入と運用体制整備について、JA みやぎ登米園芸課と話し合いを重ね、導入に向けた機械選定や必要経費、面積について資料作成を行った。また、その資料を基に登米ぼてと組合で話し合ったが、面積要件が現時点では達成が難しく、今後生産拡大した際に選別機導入を再度検討することとなった。 ・中、長期計画については、新規生産者増加に向けた選別機以外の機械導入や面積拡大に向けた方針の再検討が必要となった。 (栽培技術向上支援) ・定植時に種芋が不足したことにより、MサイズやSサイズをカットしすぎて発芽に必要な重量以下となり、欠株となってしまったほ場が見られた。 ・過去2年に発生した収穫期の大雨による灌水被害が発生しなかったが、生育初期から高温が続き生育が徒長傾向で推移したため、葉面散布による追肥を呼び掛けた。その結果ある程度の改善が見られたが栽培期間を通して高温が続き、葉の繁茂が弱く収穫物が昨年に比べ小さい傾向が見られた。 (技術・経営評価支援) ・植付作業や防除管理、収穫作業の時間測定を行い機械導入に向けたデータ収集を行うことが出来たが、選別機が無い場合の機上選別の作業人数に対する費用対効果を評価する必要がある。 ・昨年度課題となっていた収穫後の保管管理について状況確認し、遮光や換気対策が取られたことで、緑化や腐敗による大きな影響は見られなかった。
(3) 今後の対応・月次活動計画の見直し等
(組合活動・体制構築支援) ・今後開催される実績検討会に向けて、関係機関と中、長期計画の検討を行い、登米ぼてと組合3役と共に素案を作成する。 (栽培技術向上支援) ・病害虫や肥料等、今年新たに課題として挙げたものについて、今後の組合活動などの際に議題として取り上げる。 ・登米版栽培マニュアルの作成に向け、耕種概要の聞き取り及び関係機関との内容検討を行っていく。 (技術・経営評価支援) ・選別機導入が直近で無くなったため、機上選別における歩留まりを上げる効率的な運用について検討する。 ・今作で新たに生じた課題について、課題整理と対策立案の支援を行う。

月次活動計画の見直しの必要性（有・無）

※見直しの必要性がある場合は、見直した月次活動計画を添付する。

（４）対象からの意見及び評価

・選果機導入延期を含め環境が変化していくので、カルビーポテトやJAと共に引き続き支援をお願いしたい。依然として、県内及び市内で加工用ばれいしょを登米で生産していることを知らない人がたくさんいるので、知ってもらえるよう活動を行ってほしい。

・新たに加工用ばれいしょ栽培を始める人を増やしていくためにも、機械の貸し借りや収穫作業の受託体制を構築するなどの面でも支援をお願いしたい。

（JA みやぎ登米 登米ぼてと組合組合員）